

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回宍粟市地域公共交通会議(平成26年度)	
開 催 日 時	平成26年6月24日午後1時30分～	
開 催 場 所	市役所3階 庁議室	
委員長・会長 氏名	会長（副市長）清水弘和	
委 員 氏 名	(出席者) 別紙のとおり	(欠席者) 別紙のとおり
事 務 局 名 氏 名	まちづくり推進部まちづくり推進課 中岸部長、井上課長、西嶋係長、藤井 市民局まちづくり推進課 小池主査、岸元主査、松井主査 健康福祉部高年障害福祉課 福山課長、砂町副課長	
傍 聴 人 数	1人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	公開	(非公開の理由)
決 定 事 項	(役員の選任) 会長：清水副市長、副会長：山本正幸委員 監事：谷口秀年委員、藤原憲男委員 (報告事項) コミュニティバス利用実績(平成25年4月～平成26年3月) (議題及び決定事項) ① 平成27年度生活交通ネットワーク計画について(承認) ② 宍粟市公共交通再編計画の策定について(承認)	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認 (記名押印)	(委員長等) _____ ㊟	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局 会 長	1. 開会 2. あいさつ 宍粟市では少子高齢化が進行していく中で、通学や通勤、通院時の移動手段においては公共交通や外出支援サービス等様々な方法で移動手段の確保を図ってきたが、今の体系で今後持続していくことが可能なかどうかということを考えていく時期がきていると思う。昨年までは協議内容によって会議を分けていたが今回からは宍粟市地域公共交通会議という1つの会議に統一した。この会議において宍粟市の公共交通について色々と意見を交わし、会議での意見については可能な限り反映し、最終的には議会の承認を得て宍粟市公共交通の抜本的な見直しを進めていきたいと思う。
事務局 事務局 事務局 事務局	3. 宍粟市地域公共交通会議設立の趣旨説明及び規約の説明 4. 委嘱状の交付 5. 宍粟市地域公共会議委員の紹介 6. 宍粟市地域公共交通会議委員の選任について 規約の第6条の規定に基づき会長を宍粟市副市長とし、副会長及び監事については会長より任命していただく。
会 長	副会長に山本正幸委員 監事に谷口秀年委員、藤原憲男委員とする。
事務局	7. 報告
事務局 会 長	(1) コミュニティバス利用実績について それぞれのコミュニティバス路線の代表者に委員として出席いただいておりますので説明の補足や意見がありましたらお聞かせ下さい。
委 員	生活をしていく上で欠かせない路線なので廃線にならないようにしてもらいたい。
委 員	思いやり号についての利用状況は先ほどの説明のとおりではあるが地域主体で路線維持に努めているのでなくならないようにしてもらいたい。
委 員	北部3つの自治会から運転員がでて運行をしている。利用者からはこのバスがあるから非常にありがたいという声を聞く。人口減少の関係で利用は減っているが地域の声としてはバスを残してほしいという意見である。
委 員	はちはちバスについて先日事務局から1.5人/便を下回っているため減便の方向で検討しているという話があった。波賀町連合自治会の中では、利用促進はしていたのかという話もあり、なかなかバスに乗っていない現状の中で、エーガイヤちくさの温泉にはちはちバスが使えないかという話をしたがバスの運賃が高くなかなか利用にはつながらない状況である。また、はちはちバスの運賃収入について教えてもらいたい。
事務局	はちはちバスの運賃収入は年間約100万円となっている。
委 員	(2) 外出支援サービス事業の見直しについて 公共交通の整備に合わせて外出支援サービス事業を見直すということではあったが外出支援サービス事業はドアツードアで利用できるため、今までその

事務局	<p>事業を活用されていた方は公共交通を整備しても利用しないのではないかと。 たしかに外出支援サービス事業はドアツードアで利用していただいている。ただ現在、みなし認定の利用者が年々増えて300人近く登録がある。高齢者実態を担当している調査員の意見としては、公共交通を整備することでかなりの人が公共交通を利用できるのではないかという思いがある。今後計画を策定していく中でドアツードアの利用者をいかに公共交通を利用するように転換できるかということも踏まえて協議していくことが大事だと思う。</p>
事務局 委員	<p>8. 議事 (1) 平成27年度生活交通ネットワーク計画（案）について はちはちバスの路線の明記の仕方であるがエーガイヤちくさ～メイプル福祉センターではなく、エーガイヤちくさ～皆木ではないか。</p>
事務局 会長	<p>はちはちバスの起終点はエーガイヤ、皆木なのでそのように訂正する。 その他特に意見がないなら平成27年度生活交通ネットワーク計画について承認してよろしいか。</p>
委員 事務局 委員	<p>異議なし。（承認） (2) 宍粟市公共交通再編計画の策定について 3点質問を。外出支援サービス事業の事業費は約1億円という説明があったが、公共交通を再編することによる財政的なシミュレーションはしているのか。また、外出支援サービス事業との兼ね合いで公共交通の再編を平成28年4月の運行を目指して現在進めているがその時期までに外出支援サービスの調整がはたしてできるのか。期間が短いのでなかなか簡単にはいかないと思う。また、交通空白地域に支線を走らせていくわけではあるが、現在市内ではウエスト神姫の路線バスが運行している。今回の再編計画では路線バスを撤退していただいて新たにコミバスを運行するのかどうかというところの説明がなかったので教えてもらいたい。</p>
事務局	<p>幹線、支線を基にダイヤ等を作成してから財政的なシミュレーションをしてみる必要はあると思う。そのためにも本日の交通会議で幹線、支線を承認いただいた上で進めていく必要があると思う。その上で財政的なシミュレーションの結果は交通会議の中で情報提供していきたいと思う。 次に運行形態については現在明確にしていない。本日の資料の中の公共交通の基本的な考え方を基に今後運行形態について経費等の面もあわせて議論していきたい。具体的には現在の路線を路線バスで運行するのかコミバスで運行するのかということになると思う。次回以降この交通会議で議論を深めていきたい。</p>
事務局	<p>外出支援サービス事業の見直しによる調整については平成28年4月までという短い期間の中で外出支援サービス事業を担っていただいている事業者との調整の必要性や資料の中で示した将来案の対象者の絞り込みまた、利用範囲の拡充によりどれだけ事業者や利用者に影響がでるのかということを現在整理しているところである。</p>
委員	<p>支線1の考え方のところで4往復となっているが、現在もしもバスはデマンド型で運行している。それがすべて定期便の運行になるということか。もしそうであれば現在停留所が各地域に点在しているがどの程度圧縮されるのか教えてもらいたい。また、運賃については外出支援サービスを上回らないとな</p>

事務局	<p>っているが可能なのか。</p> <p>支線の運行については定期運行とデマンド運行があると思うが、地域のニーズや地域の意見を聞いていく中で判断していく必要があると思う。</p> <p>運賃体系については、今後財政的なシミュレーションをしていく中で適正な料金にしていきたいと思う。他市町の事例もある中で外出支援サービスと同程度の運行が可能ではないかということで本日の資料に明記させていただいている。</p>
委員	<p>課題の整理の中で財政的なことが明記されていない。これだけ外出支援サービス事業の負担が大きくなっていることは現状の課題として明記しておく必要があると思う。また、公共交通を持続していく中で、住民、行政、事業者がそれぞれの責務を果たしていかないとなかなか持続していかないと思う。そういった役割、責務を明記しておく必要があると思う。</p>
事務局	<p>それぞれの責務については当然明記していった上で住民に説明していかなければならないと思う。今後ご指導願いたい。</p>
委員	<p>再編計画と今の計画の連続性が明記されていない。</p> <p>現在、平成 22 年度の連携計画に基づいて市のコミバス等を運行している。連携計画は平成 27 年 3 月で終了するが、今回の再編計画は市独自の計画として新たに策定するもので数値目標も今後新たに考えていくことが必要になると思う。また、再編計画の詳細を詰めていく中で連携計画との連続性についても明記する必要があると思う。</p>
委員	<p>市の総合計画や高齢者関係の計画も策定していると思う。そのあたりとの連携をしてもらいたいと思う。将来の高校生の推移など公共交通だけではなく今後の市のあり方も含めたなかで今回の再編計画を進めてもらいたい。</p>
事務局	<p>市の大きな課題として公共交通の整備、外出支援サービスの問題、また人口減少問題がある。もちろんこれだけの課題を1つの部局だけでは対応できないので組織の横の連携を取りながら進めていきたいと思う。</p>
会長	<p>今回ご指摘いただいたところを訂正することを前提に再編計画の基本的な考え方をこの交通会議で承認いただき、次のステップに進んでいきたいと思う。</p>
委員	<p>異議なし。(承認)</p>
副会長	<p>10. 閉会</p> <p>今回再編計画の提案があった。次回の開催は予定では 10 月だができるだけ早く開催するというのであった。移動手段の確保というのが宍粟市の課題であるのでできるだけ再編計画を基に市民の移動手段を実のあるものにしていきたいと思う。今後とも様々な視点からご意見をいただきたいと思う。</p>